

(別紙1) 令和5年度兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科インターンシップ一覧

(領域で選ぶ場合)

(いずれの領域とも、最終日にはレポートを作成し、発表していただきます。)

領域	職位 教員氏名 *領域長教員	テーマ	内容	習得できる技能、能力、経験等	受入人数・期間
災害科学	教授 永野 康行	地震災害と風水害	地震災害や風水害において、ハザードと被害を発生させるメカニズム及び防災・減災対策を学びます。地震動や気象・気候データ解析手法の基礎を修得し、耐震性の高い建物構造や風水害に強い都市の構造について、構造解析や空間分析手法を用いて検討します。	災害科学領域で取り扱うテーマを俯瞰的に学習する。	2名程度・8/28-9/1
	教授 馬場 美智子*				
	准教授 谷口 博				
	准教授 平井 敬				
減災コミュニケーション	教授 阪本 真由美*	災害情報	防災・減災対策における地理空間情報（主に地図）の活用方法を学びます。その際、GIS（地理情報システム）の基礎的な技術を習得し、対象エリアにおいて街歩きを行うことにより、ローカルな災害情報を収集し、それに基づき避難計画を検討します。	減災コミュニケーションのテーマを俯瞰的に学習する。	2名程度・9/4-9/8
	教授 浦川 豪				
	准教授 松川 杏寧				
減災復興ガバナンス	教授 青田 良介*	減災復興とまちづくり	自然災害が発生すると、地域は甚大な被害を受け、人々の暮らしにも大きな影響を与えます。このインターンシップでは、まちやむら、そこに暮らす人、そのすまいや生活に着目し、地域の脆弱性、住民参画による事前対策（防災まちづくり）、災害発生後の復興について学びます。 阪神・淡路大震災等の被災地の復興状況についてフィールドワークを実施し、復興プロセスに関わった方々からのお話も聞き、理解を深めます。当研究科の教員や院生も交えたグループディスカッションを行うなど、望ましい減災復興まちづくりの姿を考えます。	1)自然災害による都市・地域への影響を理解する。 2)被害を受けた地域の復旧・復興の適切な方法論、そして被害を減じるための計画論について理解する。	3名程度・8/28-9/1
	准教授 澤田 雅浩				
	准教授 紅谷 昇平				